

## 設計課題 「シェアハウス(木造)」

## 1. 設計条件

- ある地方都市において、シェアハウス(共同居住型賃貸住宅)を計画する。計画に当たっては、次の①～③に特に留意する。
- ①入居者の交流とプライバシーの確保に配慮する。
  - ②上下階の床衝撃音・騒音等に配慮する。
  - ③LDKについて、耐震性及び上階からの荷重等に配慮する。

(1) 敷地  
ア. 形状、道路との関係、方位等は、下に示す敷地図のとおりである。  
イ. 第一種住居地域内にあり、防火・準防火地域の指定はない。  
ウ. 建蔽率の限度は60%(特定行政庁が指定した角地における加算を含む)、容積率の限度は200%である。  
エ. 地形は平坦で、道路及び隣地との高低差はなく、地盤は良好である。  
オ. 電気・都市ガス・上水道及び公共下水道は完備している。

## (2) 構造、階数、建築物の高さ等

- ア. 木造2階建とする。  
イ. 建築物の最高の高さは10m以下、かつ、軒の高さは7m以下とする。  
ウ. 耐力壁(構造耐力上有効な壁)は、必要な量をバランスよく配置する。

## (3) 延べ面積等

- ア. 延べ面積は、「200m<sup>2</sup>以上、250m<sup>2</sup>以下」とする。  
イ. ピロティ、玄関ポーチ、バルコニー、屋外テラス、駐輪スペース、ゴミ置き場等は、床面積に算入しない。

## (4) 要求室等

下表の全ての室等は、指定された設置階に計画する。

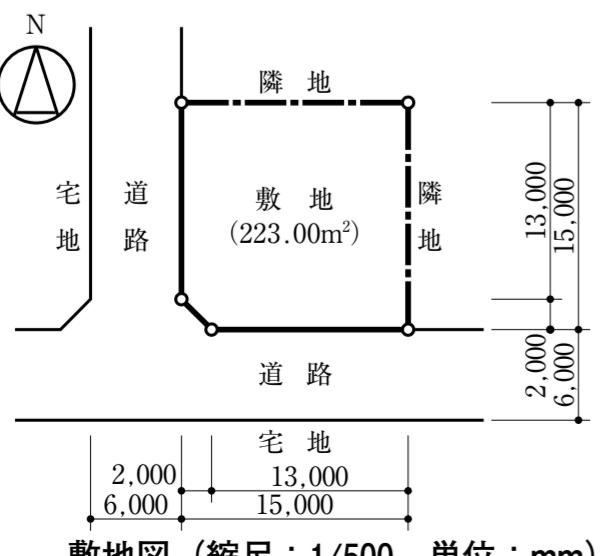
設置階	室名等	特記事項
1階	玄関	ア. 下足入れを設ける。 イ. 土間部分の広さは、心々1,820mm×1,820mm以上とする。(下足入れを含む。)
	LDK	ア. 1室にまとめ、25m <sup>2</sup> 以上として計画する。 イ. 入居者同士又は入居者の友人等を招いてのパーティー等にも使用する。 ウ. 屋外テラスと直接行き来できる出入口を設ける。 エ. ソファー、大型テーブル及び椅子(計8席以上)を設ける。 オ. アイランド型キッチンとする。 カ. リビング又はダイニング部分の上部に7.0m <sup>2</sup> 以上の吹抜けを設け、2階の廊下又は交流スペースから見下せるようにする。
	シャワールーム・脱衣室	ア. それぞれ2ブース設ける。 イ. 脱衣室に棚を設ける。
	洗濯室	・洗濯乾燥機2台以上を設ける。
	便所	・2室設ける。
	納戸(A)	個室(A)
2階	専用部分	ア. 4室(各13m <sup>2</sup> 以上)設ける。 イ. いずれも洋室とし、それぞれにシングルベッド、テーブル、椅子、収納及び洗面台を設ける。
	共用部分	ア. 入居者同士の交流の場として使用する。 イ. 室とし、廊下側の壁には窓を設ける。 ウ. テーブル、椅子(計6席以上)及びミニキッチンを設ける。 エ. 曜コーナー(3畳以上)を設ける。
	専用部分	ア. それぞれ3ブース設ける。 イ. 脱衣室に棚を設ける。
	共用部分	洗濯室
	専用部分	・洗濯乾燥機2台以上を設ける。
	納戸(B)	個室(B)

(注)各要求室等においては、床面積・広さの指定がない場合、床面積は適宜とする。

## (5) 屋外施設等

屋外に下表のものを計画する。

屋外テラス	ア. LDKと直接行き来できるようにする。 イ. LDKと同じ高さとして計画する。 ウ. テーブル及び椅子(計6席以上)を設ける。
敷地内の通路	・個室(B)のバルコニーが直接道路に面していない場合、バルコニー前面に有効幅員1.5mの空地及び避難経路を確保する。
駐輪スペース	・10台分を設ける。
ゴミ置き場	・蓋の付いたゴミ収納庫を置くことができるスペース(2,000mm×1,000mm)を設ける。
門・塀・植栽等	



## 2. 要求図書

- a. 答案用紙の定められた枠内に、下表の要求図書を記入する。(寸法線は、枠外にはみだしして記入してもよい。)  
b. 図面は黒鉛筆仕上げとする。(定規を用いなくてよい。)  
c. 記入寸法の単位は、mmとする。なお、答案用紙の1目盛は、4.55mm(矩計図にあっては、10mm)である。  
d. シックハウス対策のための機械換気設備等は、記入しなくてよい。

要 求 図 書 ( ) 内 は 箱 尺	特 記 事 項
(1) 1階平面図兼配置図 (1/100)	ア. 1階平面図兼配置図及び2階平面図には、次のものを記入する。 ・建築物の主要な寸法 ・室名等 ・吹抜けの範囲(階平面図兼配置図には破線、2階平面図には一点鎖線でその範囲を明記する。) ・「通し柱」を○印で囲み、「耐力壁」には△印を付ける。 イ. 1階平面図兼配置図には、次のものを記入する。 ・敷地境界線と建築物との距離 ・道路から建築物へのアプローチ、屋外テラス、バルコニー前面の空地及び避難経路(個室(B)のバルコニーが直接道路に面していない場合のみ)、駐輪スペース、ゴミ置き場、門、塀、植栽等 ・道路から敷地及び建築物への出入口には、▲印を付ける。 ・玄関の土間部分の地盤面からの高さ ・玄関ホール(廊下)及びLDKの床高 ・玄関…下足入れ ・LDK…ソファ、大型テーブル、椅子及びキッチン設備機器(流し台、調理台、コンロ台、冷蔵庫等) ・シャワールーム・脱衣室…棚 ・洗濯室…洗濯乾燥機 ・便所…洋式便器及び手洗い器 ・個室(A)…シングルベッド、テーブル、椅子、収納及び洗面台 ・屋外テラス…テーブル及び椅子 ウ. 2階平面図には、次のものを記入する。 ・1階の屋根伏図(平家部分がある場合) ・交流スペース…テーブル、椅子及びミニキッチン設備機器(流し台、調理台、コンロ台、冷蔵庫等) ・シャワールーム・脱衣室…棚 ・洗濯室…洗濯乾燥機 ・個室(B)…2段ベッド、テーブル、椅子、収納、洋式便器、洗面台及びバルコニー
(3) 2階床伏図兼1階小屋伏図 (1/100)	ア. 主要部材(通し柱、1階及び2階の管柱、胴差、2階床梁、桁、小屋梁、火打梁、棟木、母屋、小屋束等必要なもの)については、凡例の表示記号にしたがって記入し、断面寸法(小屋束を除く)を凡例欄に記入する。ただし、主要部材のうち、平角材又は丸太としたものについては、その断面寸法を図面上に記入する。なお、根太及び垂木については、記入しなくてよい。 イ. 火打梁の代わりに、構造用材による床組とする場合には、胴差、床梁、桁を記入したうえで構造用材の種類・厚さ、釘の種類・打ち付け間隔を明記する。 ウ. その他必要に応じて用いた表示記号は、凡例欄に明記する。 エ. 建築物の主要な寸法を記入する。
(4) 立面図 (1/100)	ア. 南側立面図とする。 イ. 建築物の最高の高さを記入する。
(5) 矩計図 (1/20)	ア. 切断位置は、1階及び2階の外壁を含む部分とし、1階又は2階の少なくともどちらかの開口部を含むものとする。 イ. 作図の範囲は、柱心から1,000mm以上とする。 ウ. 矩計図として支障のない程度であれば、水平方向及び垂直方向の作図上の省略は、行ってよいものとする。 エ. 主要部の寸法等(床高、天井高、階高、軒高、軒の出、開口部の内法、屋根の勾配)を記入する。 オ. 主要部材(基礎、土台、胴差、2階床梁、2階根太、桁、小屋梁、火打梁、母屋、垂木等必要なもの)の名称・寸法を記入する。 カ. アンカーボルト、羽子板ボルト等の名称・寸法を記入する。 キ. 屋根(小屋裏が外気に通じている場合は、屋根の直下の天井)、外壁、その他必要と思われる部分の断熱・防湿措置を記入する。なお、外壁の断熱措置等を行う箇所については、材料名、材料の厚さ等も記入する。 ク. 室名及び内外の主要な部位(屋根、外壁、床、内壁、天井)の仕上材料名を記入する。 ケ. 外壁の仕上げについては、乾式工法によるものとする。
(6) 面積表	ア. 建築面積、床面積及び延べ面積を記入する。 イ. 建築面積及び床面積については、計算式も記入する。 ウ. 面積の数値は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。
(7) 計画の要点等	・建築物等の計画に関する次の①～③について、具体的に記述する。 ① 1階と2階の入居者同士の交流に配慮しつつ、多様な入居者を想定したプライバシーの確保について、考慮した点 ② 上下階の床衝撃音・騒音対策について、工夫した点 ③ LDKに設ける耐力壁の「仕様(筋かい)、構造用材等)」、「壁倍率」及び「耐力壁の配置」について工夫した点

## 下書欄 (目盛4.55mm)

〔注意事項〕 試験問題を十分に読んだうえで、「設計製図の試験」に臨むようにしてください。なお、建築基準法等の関係法令や要求図書、主要な要求室等の計画等の設計与条件に対して解答内容が不十分な場合には、「設計条件・要求図書に対する重大な不適合」と判断されます。